

単元名 筆者の主張や意図をとらえ、自分の考えを発表しよう

「笑うから楽しい」「時計の時間と心の時間」

1. 単元構想図

【単元のねらい】

筆者の主張とそれを支える事例の関係を叙述を基に押さえる活動を通して、文章全体の構成を捉え、自分の意見を、自身の経験や知識と関連付けて発表することができる。

【本単元で働かせたい国語の見方・考え方】

筆者の主張に対する自分の考えを、自分の経験や知識を関連付けて発表することができる。

知識及び技能

◎原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。
(知識及び技能(2)ア)

思考力・表現力・判断力等

◎人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。
(思・判・表C(1)オ)

学びに向かう力・人間性等

○進んで主張と事例の関係を捉えて読み、学習課題に沿って自分の考えをまとめて発表することができる。

単元をつらぬく課題

筆者の主張や意図をとらえ、自分の考えを発表しよう。

学習を生かし、生活に関する主張を、自身の経験や知識と関連付けて発表しよう。

学習したことを生かして、自分の経験を基にして、主張を相手に伝えることができる。

前時にまとめた自分の考えを発表し合う。

筆者の主張に対する自分の考えを、経験したことを基にして発表することができる。

自身の経験を効果的に活用して、自身の主張をまとめよう。

相手に説得力のあるように考えて、自分の経験を選び主張をすることができた。

複数の事例が挙げられていることを理解する

筆者の主張に納得できるか、事例を基にして考えることができた。

語句の確認
文章の構成を理解する。

複数の事例が挙げられていて、筆者の主張が分かりやすかったから、自分が主張するときも必要なら複数の事例を活用しよう。

自身の経験を基にした主張の練習

自分の経験を基に自分の意見を主張したら、いつもより相手に伝えやすかった。

事例の効果を理解する

事例は、筆者の主張を支えるものになっていて、説得力を挙げていることが分かる。

語句の確認
単元の見直しを持つ

単元末で自分の主張をすることは分かったけど、どうしたら説得力のある主張にできるのだろう。

<第8時>(時計の時間と心の時間 第5時)

進んで主張と事例の関係について理解を深め、自分の考えを伝えようとしている。【学びに向かう力】

<第7時>(時計の時間と心の時間 第4時)

筆者の主張に対する自分の考えを発表し合い、これまでの学習を振り返ることができる。【学びに向かう力】

<第6時>(時計の時間と心の時間 第3時)

筆者の主張とそれを支える事例の関係を捉え、「時計の時間」と「心の時間」という二つの時間について自分の経験と重ねながら考えをまとめている。【思・判・表C(1)オ】

<第5時>(時計の時間と心の時間 第2時)(本時)
本文に挙げられる事例の叙述や筆者の主張を読み取り、それぞれの事例に対する自分の考えを書くことができる。【思・判・表C(1)オ】

<第4時>(時計の時間と心の時間 第1時)
主張と事例の関係を叙述を基に押さえ、文章の構成を捉え要旨を把握している。【思・判・表C(1)ア】

<第3時>(笑うから楽しい 第3時)
筆者の主張と事例から、「笑うこと」と「楽しさを感じること」に関して、自分の経験と重ねながら考えをもつことができている。【思・判・表C(1)オ】

<第2時>(笑うから楽しい 第2時)
主張と事例の関係を叙述を基に押さえ、文章の構成を捉え要旨を把握している。【思・判・表C(1)ア】

<第1時>(笑うから楽しい 第1時)
筆者の主張と事例の関係について理解している。
【知識及び技能(2)ア】

既習事項

- 事例・理由や論の展開に着目して、要旨を捉えること。
- 事例と意見の関係をおさえて読み、自分の考えを明確にして伝え合う。

2. 本時のねらい

本文に挙げられる事例の叙述や筆者の主張を読み取り、それぞれの事例に対する自分の考えを書くことができる。
(思・判・表 C (1) オ)

3. 本時の展開 (5/8)

過程	学 習 内 容 (◎教師の発問 ○児童の発言)	教師の働きかけ																																																																																										
導入	<p>1. 前時学習したことの確認を行う。</p> <p>◎筆者の主張と「時計の時間と心の時間」の文章構成について振り返りましょう。</p> <p>○筆者は「時計の時間」と「心の時間」のどちらも大切だと考えている。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>時</td> <td>心</td> <td>事</td> <td>例</td> <td>事</td> <td>例</td> <td>用</td> <td>語</td> <td>の</td> <td>説</td> <td>明</td> <td>主</td> <td>張</td> <td>段</td> <td>落</td> </tr> <tr> <td>主</td> <td>ま</td> <td>事</td> <td>事</td> <td>事</td> <td>事</td> <td>用</td> <td>語</td> <td>の</td> <td>説</td> <td>明</td> <td>主</td> <td>張</td> <td>段</td> <td>落</td> </tr> <tr> <td>張</td> <td>と</td> <td>例</td> <td>例</td> <td>例</td> <td>例</td> <td>語</td> <td>の</td> <td>説</td> <td>明</td> <td>語</td> <td>の</td> <td>説</td> <td>明</td> <td>割</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ま</td> <td>事</td> <td>事</td> <td>事</td> <td>事</td> <td>語</td> <td>の</td> <td>説</td> <td>明</td> <td>語</td> <td>の</td> <td>説</td> <td>明</td> <td>割</td> </tr> <tr> <td></td> <td>と</td> <td>例</td> <td>例</td> <td>例</td> <td>例</td> <td>語</td> <td>の</td> <td>説</td> <td>明</td> <td>語</td> <td>の</td> <td>説</td> <td>明</td> <td>割</td> </tr> <tr> <td></td> <td>め</td> <td>例</td> <td>例</td> <td>例</td> <td>例</td> <td>語</td> <td>の</td> <td>説</td> <td>明</td> <td>語</td> <td>の</td> <td>説</td> <td>明</td> <td>割</td> </tr> </table>	時	心	事	例	事	例	用	語	の	説	明	主	張	段	落	主	ま	事	事	事	事	用	語	の	説	明	主	張	段	落	張	と	例	例	例	例	語	の	説	明	語	の	説	明	割		ま	事	事	事	事	語	の	説	明	語	の	説	明	割		と	例	例	例	例	語	の	説	明	語	の	説	明	割		め	例	例	例	例	語	の	説	明	語	の	説	明	割	<p>・前時までの「時計の時間と心の時間」の学習を振り返り、児童全員が「筆者の主張」と「文章構成」を理解した状態で学習を行えるようにする。</p> <p>・前時までは「筆者の主張」や「文章構成」といった本文の大枠をとらえたため、本時はそこに含まれる「事例」について詳しく考えていくという見通しをもつ。</p> <p style="text-align: center;">【研究1】</p>
時	心	事	例	事	例	用	語	の	説	明	主	張	段	落																																																																														
主	ま	事	事	事	事	用	語	の	説	明	主	張	段	落																																																																														
張	と	例	例	例	例	語	の	説	明	語	の	説	明	割																																																																														
	ま	事	事	事	事	語	の	説	明	語	の	説	明	割																																																																														
	と	例	例	例	例	語	の	説	明	語	の	説	明	割																																																																														
	め	例	例	例	例	語	の	説	明	語	の	説	明	割																																																																														
展開	<p>筆者の主張と事例をとらえ、事例に対する自分の考えを書こう。</p> <p>2. 筆者が挙げた事例に対する自分の考えを、自分の経験を基に書く。</p> <p>◎筆者の挙げた事例に納得できるのかを、理由を含めて書きましょう。</p> <p>○僕は一つ目の事例に納得できます。</p> <p>理由は、確かに私も苦手な算数の授業の時には時間がたつのが遅く感じるのに、好きな体育の授業はあっという間に感じるからです。</p> <p>3. グループで交流を行い、様々な角度からそれぞれの事例をとらえる。</p> <p>◎グループで交流し、仲間の考え方を知りましょう。</p> <p>○仲間の考えを聞いて、自分も朝と夜であまり時間の進み方が違うと感じたことはないので、納得できないところもあると思いました。</p>	<p>予想される躓きに対する手立て</p> <p>A 筆者の主張に納得できる、できないをまとめられない。</p> <p>→それぞれの事例をとらえ、その事例に納得できるかで考えるようにする。</p> <p>B 事例に納得できるかどうかをまとめられない。</p> <p>→自分が経験したことがあるかという点で事例をとらえるようにする。</p> <p>・グループ交流では、自分の考えと仲間の考えはどこが違うのかに着目して行うようにする。【研究2】</p> <p>・全体交流では、ハンドサインを活用することで、仲間の意見と自分の考えの違いについての考えを深める。【研究2】</p>																																																																																										
終末	<p>4. 全体交流を行う。</p> <p>◎グループ交流を通して自分の考えがどう変化したかを含めて、自分の考えを発表しましょう。</p> <p>5. 本時のまとめと振り返りを行う。</p> <p>私は筆者が挙げている事例に納得できました。</p> <p>理由は、私も苦手な算数の授業の時には時間がたつのが遅く感じるのに、好きな体育の授業はあっという間に感じるからです。でも、仲間の意見を聞いて事例の2つめには納得できないところもあると思いました。</p>	<p>・まとめを①筆者の主張に対する自分の考え。②①と考える根拠。を基にして書くようにし、仲間との交流を通じた考えの変化を含めて書くようにする。【研究3】</p> <p>筆者の挙げている事例をとらえ、それに対する自分の意見を書くことができている。 (ノート・原稿・発言)</p>																																																																																										